

計算書類に対する注記（法人全体用）

社会福祉法人 泰斗

1. 継続事業の前提に関する注記

該当なし

2. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

該当なし

(2) 固定資産の減価償却の方法

- ・建物並びに器具及び備品一定額法
- ・リース資産

該当なし

(3) 引当金の計上基準

該当なし

3. 重要な会計方針の変更

該当なし

4. 法人で採用する退職給付制度

福祉医療機構社会福祉施設職員等退職手当共済制度

5. 法人が作成する計算書類と拠点区分、サービス区分

当法人の作成する計算書類は、以下のとおりになっている。

- (1) 法人全体の計算書類（第一号第一様式、第二号第一様式、第三号第一様式）
- (2) 事業区分別内訳表（第一号第二様式、第二号第二様式、第三号第二様式）
- (3) 社会福祉事業における拠点区分別内訳表（第一号第三様式、第二号第三様式、第三号第三様式）
- (4) 公益事業における拠点区分別内訳表（第一号第三様式、第二号第三様式、第三号第三様式）
- (5) 収益事業における拠点区分別内訳表（第一号第三様式、第二号第三様式、第三号第三様式）
- (6) 各拠点区分におけるサービス区分の内容
 - ①特別養護老人ホームくぬぎ荘拠点区分
 - ア 本部区分
 - イ くぬぎ荘区分

6. 基本財産の増減の内容及び金額

基本財産の増減の内容及び金額は、以下のとおりである。

(単位：円)

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
土地	28,418,594	0	0	28,418,594
建物	275,506,552	0	9,789,511	265,717,041
合 計	303,925,146	0	9,789,511	294,135,635

7. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩し

国庫補助金等特別積立金の取崩し 4,060,000円

8. 担保に供している資産

担保に供している資産は以下の通りである。

土地（基本財産） 28,418,594 円
建物（基本財産） 265,173,508 円

9. 有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。

(単位：円)

	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
基本財産			
建物	279,147,860	13,430,819	265,717,041
小 計	279,147,860	13,430,819	265,717,041
その他の固定資産			
車輛運搬具	2,262,430	564,142	1,698,288
器具及び備品	13,727,539	3,130,843	10,596,696
小 計	15,989,969	3,694,985	12,294,984
合 計	295,137,829	17,125,804	278,012,025

10. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高

債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高は、以下のとおりである。

(単位：円)

	債権額	徴収不能引当金の当期末残高	債権の当期末残高
事業未収金	12,787,602	0	12,787,602
合 計	12,787,602	0	12,787,602

11. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

該当なし

12. 関連当事者との取引の内容

該当なし

13. 重要な偶発債務

該当なし

14. 重要な後発事象

該当なし

15. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態を明らかにするために必要な事項

該当なし

計算書類に対する注記（地域密着型介護老人福祉施設 くぬぎ荘拠点区分用）

社会福祉法人 泰斗
特別養護老人ホームくぬぎ荘

1. 重要な会計方針

（1）有価証券の評価基準及び評価方法

該当なし

（2）固定資産の減価償却の方法

- ・建物並びに器具及び備品一定額法
- ・リース資産

該当なし

（3）引当金の計上基準

該当なし

2. 重要な会計方針の変更

該当なし

3. 採用する退職給付制度

福祉医療機構社会福祉施設職員等退職手当共済制度

4. 拠点が作成する計算書類とサービス区分

当拠点区分において、作成する計算書類は、以下のとおりになっている。

- （1）くぬぎ荘拠点計算書類（第一号第四様式、第二号第四様式、第三号第四様式）
- （2）拠点区分資金収支明細書（会計基準別紙3（㊸））
- （3）拠点区分事業活動明細書（会計基準別紙3（㊸））

5. 基本財産の増減の内容及び金額

基本財産の増減の内容及び金額は、以下のとおりである。

（単位：円）

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
土地	28,418,594	0	0	28,418,594
建物	275,506,552	0	9,789,511	265,717,041
合 計	303,925,146	0	9,789,511	294,135,635

6. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩し

国庫補助金等特別積立金の取崩し 4,060,000円

7. 担保に供している資産

担保に供している資産は以下の通りである。

土地（基本財産） 28,418,594 円

建物（基本財産） 265,173,508円

8. 有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。

(単位：円)

	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
基本財産			
建物	279,147,860	13,430,819	265,717,041
小 計	279,147,860	13,430,819	265,717,041
その他の固定資産			
車輛運搬具	2,262,430	564,142	1,698,288
器具及び備品	13,727,539	3,130,843	10,596,696
小 計	15,989,969	3,694,985	12,294,984
合 計	295,137,829	17,125,804	278,012,025

9. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高

債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高は、以下のとおりである。

(単位：円)

	債権額	徴収不能引当金の当期末残高	債権の当期末残高
事業未収金	12,787,602	0	12,787,602
合 計	12,787,602	0	12,787,602

10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

該当なし

11. 重要な後発事象

該当なし

12. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態を明らかにするために必要な事項

該当なし